

【組合の概要】

協同組合千葉施設管理センターは、千葉市周辺地域の電気工事業者と保安管理者の有志が結集し、顧客へのサービスの充実、組合員の受注機会の増大と技術力向上を目指して平成14年10月に設立された。以来、電気設備工事並びに電気保安管理業務の受注斡旋と教育情報事業を中心に経営の合理化、近代化に取り組んでいる。

【理事長会社概要】

モデン工業株式会社は、関泰雄理事長が学卒、設備工事会社で修行の後、29歳の時独立創業した会社である。昭和35年に有限会社茂原電設工業でスタートし、その後37年に株式会社組織変更した。しかし、業務上略してモデンさんと呼ばれることが多く、それでは正式名称を茂原電設からモデンに改めてしまえということまで現在に至っているとのことである。業務内容は、電気工事、電気計装工事、電気通信工事、機械設備工事、消防設備工事及び関連諸設備、施工業務である。官公需と民需の比率は以前半々であったが、行財政難の時代を反映し、現在では15対85と民需が圧倒的に多くなっている。平成18年度の売上見込額は30億円と電気工事業界では県内トップクラスの業績である。50名以上いる正社員の

協同組合千葉施設管理センター 関泰雄理事長



◎せき・やすお 昭和26年電機工業専門学校電気科（現東京電機大学）卒業、修行の後35年に独立、有限会社茂原電設工業、代表取締役社長就任。37年株式会社組織変更。昭和46年社名変更。平成14年協同組合千葉施設管理センター理事長。78歳。

職人気質と柔軟な発想で 着実な成長を続ける

殆どは資格を持つ技術者であり、多くの優秀な有資格者を擁することがゼネコンや官公庁等のクライアントから信頼されている理由である。平成13年にISO9001を取得している。

【関泰雄理事長の横顔】

の会社(株)セイスイでは、汚水浄化装置製作販売、浄化剤製造販売、化粧品類製造販売等も行っている。昨年から今年にかけて特許や実用新案を数多く取得している。これら特許等のテーマを関理事長が自ら発想し研究者を示唆して進めているのには驚くばかりである。

組合活動以外では、千葉県電業協会会長、日本電設工業協会理事、県都政治経済懇話会会長、千葉県建設産業団

協同組合千葉施設管理センター

所在地 千葉市稲毛区長沼原町363-2
代表者 関 泰雄
組合員数 4名 出資金 400万円
職員数 11名



体連合会副会長、千葉県電気協会理事、東京電機大学校友会理事他多数の公職を歴任し、平成11年には、勲5等瑞宝章を受章された。現在は、千葉県電業協会顧問、東京電機大学校友会千葉県支部相談役である。

趣味を伺ったところ、以前は磯釣りや錦鯉で、釣竿はその製作のための道具まで自作されるほどの入れ込みよう、錦鯉も新潟まで出かけて蒐集していたと妥協を許さない。最近、盆栽が主な趣味だそうで、自宅庭の200鉢の盆栽の剪定や毎日の水遣り等の世話は毎朝の日課というこれまた驚かされる限り。座右の銘は「気付く、気力、気働き」言い換えれば、着想、実行力、創意工夫といえる。職人気質でありながら柔軟な発想で組織を引っ張る。